平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	46001	事務事業名	子育て支援事業	所管課	子ども育成課

総合計画体系（後期）			
	部	2	子育て環境の充実
	章	1	子どもを安心して生み育てられる施策の充実
	節（施策）	1	子育て支援

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

安心して子育てができ、元気な子どもが育つまち

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

子育て支援計画（次世代育成支援対策行動計画）の進行管理。子育てサロン運営支援、子育て関係機関連携会議の開催、子育て支援ハンドブック作成。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		3,291	1,353	2,416
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,291	1,353	2,416
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

子育て支援計画（宗像市次世代育成支援対策後期行動計画）に掲げる特定事業の目標値の達成。子育てサロン等との連携による地域での子育て支援環境の充実。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
子育てサロンの参加者数	子育てサロンの参加者数	人	2906	3114	2930	3000	3122	3000	3000	3000	3000

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	子育て支援計画（次世代育成支援対策行動計画）に掲げる施策・事業について進行管理を行う。また、「子育てサロン」の支援などを通して、子育て支援を地域に根ざした、地域全体で担う体制づくりを図る。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 子育て支援計画（次世代育成支援対策行動計画）に掲げる施策・事業について進行管理を行った。「子ども基本条例（案）」策定作業を行った（審議会実施回数９回）。子育てサロン連携会議（年2回）の開催等により、地域に根ざした子育て支援の体制づくりを行った。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	情報化社会の進展や核家族化等により、子育てに関する市民のニーズは多様化している。一方で、子育てに対する無関心層の増加なども懸念されている。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	評価 2	
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	評価 2	
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	評価 1	コミュニティ運営協議会等による子育てサロンの運営など。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	
公平性の評価		**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	評価 2	事業の対象が、子育て中の親子に限定される。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	子育て支援計画については、適正な事業の進捗が図られていると考えている。今後は環境の変化にも対応できるよう関係各課等との調整が必要と考えている。子ども基本条例（案）は、次世代育成支援対策審議会において十分な審議を重ねてきている。今後は当条例を実効性のあるものとするための体制づくりが重要。	子ども基本条例（案）に関しては、施策への反映などを図るため、事業を分離する。
予算	拡充		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	維持	今後も効果的、効率的に事業を実施する必要がある。なお、子ども基本条例策定後は「子ども育成推進事業」で関連事業を進めていくため、本事業の予算については、「縮小」とした。
予算	縮小	